

次代の教育セミナーのご案内

地域との協働による高校改革を考える

現在、地方の高校改革のニーズが急増している中、学校と地域の連携、学校の統廃合や改革にはさまざまな課題や問題点があります。地域との協働による特色ある高校づくりの先進事例として、島根県海士町にて実施されている「島前高校魅力化プロジェクト」を挙げながら、地域との連携による魅力的な教育の実践方法と、今後の可能性を探ります。教育からの町づくりに関心がある方々、地域との協働による特色ある学校づくりに興味がある方々、また未来の教育へのヒントを見つけ出したいという方々など多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2012年12月9日(日)

15:30~17:30

*セミナー終了後、交流会を予定しております。

会場：日本教育大学院大学
御茶ノ水キャンパス 7階 702教室

〒101-0041

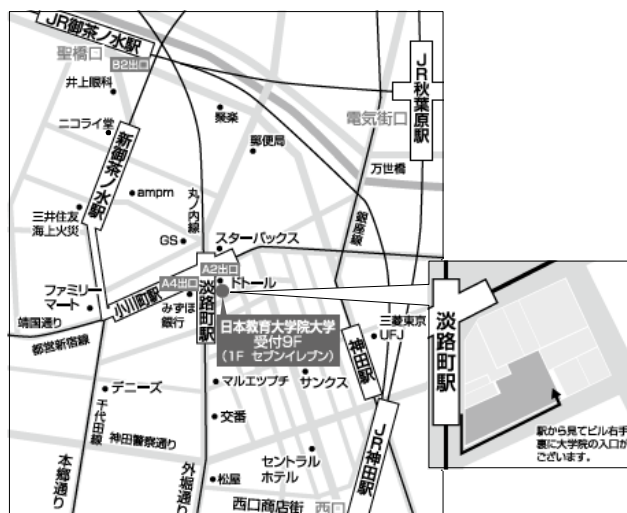
千代田区神田須田町 1-2-3

Z会御茶ノ水ビル

TEL: 03-5298-6172

FAX: 03-3253-0721

URL: <http://www.kyoiku-u.jp/>



- 主な内容(予定) なぜ今、地方の高校改革のニーズが急増しているのか？
島根県海士町での先進事例紹介「島前高校魅力化プロジェクト」
その他地域・高校の魅力化の実践と今後の可能性
高校改革で求められている人材像と参画方法

- スピーカー 岩本 悠(高校魅力化プロデューサー)
学生時代に一年間アジア・アフリカの地域開発の現場を巡る。帰国後、その体験記『流学日記』を出版。その印税等でアフガニスタンに学校をつくる。幼稚園、小、中、高校の教員免許を取得し大学を卒業。ソニーで人材育成・組織開発・社会貢献事業に携わる傍ら、途上国の教育支援や、全国でキャリア教育の出前授業を実施。2006年から、地域と協働した魅力ある高校づくりに取り組む。2011年「日本を立て直す100人」(朝日新聞出版)に選出。

藤岡慎二(隠岐国学習センター 教育ディレクター)

1975年生まれ。慶應義塾大学修士課程修了。キャリア教育・社会人基礎力・学習意欲向上、推薦AO入試を専門に、大手予備校や高校などで18年の指導歴を持つ。ベネッセコーポレーションの新商品開発のアドバイザーも務め、現在は島前に移住し、学校連携型公営塾で指導も行う一方、高校の外部講師として、地域企業家育成などの授業も実施。キャリア論、コミュニケーション、リーダーシップ等を研究。

- 主催 日本教育大学院大学
- 共催 株式会社栄光 / 株式会社エデュケーショナル・ネットワーク
- 協力 島根県隠岐国 海士町

- お申込方法 本学ホームページ (<http://www.kyoiku-u.jp/>) のお申込フォームよりお申込下さい。
- 定員・参加費用 40名・無料
- 申込締切日 2012年12月3日(月) ※定員に到達次第締め切ります。
- お問合せ先 日本教育大学院大学事務局(担当:伊藤) TEL: 03-5298-6172

■ 隠岐 島前 海士町(おき どうぜん あまちょう)ってどこ？

島根県沿岸から北へ60km、日本海に浮かぶ隠岐諸島の中ノ島を「海士町」という。人口減少、超少子高齢化、財政難の中、大幅な行財政改革や産業創出、子育て支援、教育・人づくり、高校の魅力化など独自の取り組みを行ってきた。その結果、H16～23年度で人口の1割強にあたる330人(218世帯)が全国から移住。Uターン者も約150人に及んでいる。20～40代の若者や子ども連れの家族が「ここでチャレンジしたい」「この島で子どもを育てたい」と移住する傾向があり、地域振興と教育振興の先進地域として、全国から注目を集めている。



■ 島前高校魅力化プロジェクトとは？

島前高校は島前3島(海士町、西ノ島町、知夫村)における唯一無二の高校(県立)。少子化により生徒数の減少で統廃合の危機に瀕していたが、地域と高校が協働し魅力ある学校づくりを開始。



島の豊富な地域資源や人材を活用し、人間力の育成を目指す「地域創造コース」と、夢に向けた進学希望の実現を目指す「特別進学コース」を設置。また、高校と地域の連携型公立塾「隠岐國学習センター」も開設し、特色ある授業を展開。

生徒達が企画した観光ツアーが、全国観光プランコンテスト「観光甲子園」で日本一(文部科学大臣賞)を受賞し、生徒達はそのツアーを継続実施するなど地域貢献も活発になり、平成23年度は全国で唯一学校としてキャリア教育推進連携表彰(経産省・文科省)を受賞した。



進路希望の実現度も高まり、

- * 平成21年度 筑波大学から八角部屋(大相撲)まで
- * 平成22年度 4人に1人が国公立大学に合格、就職希望者100%内定
- * 平成23年度 早稲田大学、日本郵政グループ、地元銀行など

入学者は倍増、今年度の入学生の約3割の生徒が東京、大阪など全国から入学し、過疎地の高校としては異例の学級増となっている。



- 隠岐島前高等学校ウェブサイト <http://www.dozen.ed.jp/>
- 高校魅力化プロジェクトウェブサイト <http://miriyokuka.dozen.ed.jp/>

■ 隠岐國学習センターとは？

地域と高校の連携型公営塾。超少人数制の自立学習指導と地域の大人も巻き込んだゼミ形式のキャリア教育で、夢に向けた進路の実現を目指す。各自の興味や問題意識から生まれた課題に取り組む「夢ゼミ」では、必要に応じてスカイプやユーストリームなどのICTも利用し、地理的ハンディキャップを克服しながら、全国のプロフェッショナルとの対話の場や東京の高校生との議論の場もつくっている。また、毎週、高校の進路指導部や各学年の担任、教科担当などと会を持ち、進路の方向性や、指導方針等をすり合わせるなど、今までの学校と塾の関係を超えた協働体制で運営されている。

